



ミルコ・デムロー Mirco Demuro
1979年1月11日、イタリア生まれ。33歳。94年見習騎手免許を取得。97年から00年までイタリアリーディングジョッキーに輝く。99年秋より短期免許にてたびたび来日。主な勝ち鞍は03皐月賞・日本ダービー（ネオユニヴァース）、04皐月賞（ダイワメジャー）、08ジャパンC（スクリーンヒーロー）、10有馬記念・11ドバイワールドC（ヴィクトワールピサ）、12天皇賞・秋（エイシンフラッシュ）など。JRA通算2048戦310勝（2012年11月11日終了現在）。

幹夫さんみたいにやりたかったけど、
スペシャルな形で敬意を表したかった

**インコースに拘る作戦には
ある大きな理由があった**

第146回天皇賞・秋。各騎手にはJRA職員から「勝ったら天皇皇后両陛下の前で頭を下げる」との示達がなされたという。デムローはその言葉を受け、

ヘルメットを脱ぎ、天皇皇后両陛下に向け、頭を垂れる。観客席からは「おおっ」という感心とも感嘆ともとれる声がかかる。しばし、下げた頭をあげると、待っていたかのように馬が歩き出した。7年前のそんな様子を映像でチェックしたミルコ・デムロー。

「素晴らしいと感じた」
7年前の映像をチェックしたのだ。「自分もそうできれば良いな……」という思いを胸に、ゲートへ向かったという。鞍下にはエイシンフラッシュ。2010年のダービー馬であり、そのダービー以来、勝ち星から遠ざかっている馬だ。デムローがレースで同馬に跨るのは、これが初めてだった。しかし、調教では2週にわたって乗っていた。

「一週前追い切りでは折り合いを欠いたけど、最終追い切りは我慢して走り、最後は良い脚を使ってくれた」
状態がアップしているという手応えを感じた。
その上で、調教師の藤原英昭とも作戦

を練った。そして……。
「スタートしたら作戦通りの位置をとれた」
最終インコースを回るのも作戦通りだった。コースロスがなくなるのは勿論だが、理由はそれだけではなかった。いや、むしろもっと大きな理由があった。外を回るよりも馬群の中にいる方が闘志を燃やすというエイシンフラッシュの気性を配慮してのコース取りだった。
「最後はヴィクトリロードが開いた。ラッキーだったね」
そう言う。逃げたシルポートが一気に後退していたら前が詰まった可能性もあったことを思えば、確かにラッキーだった面もあるだろう。しかし、シルポートの逃げはハイペースが身上。当然、馬群は縦長になり、内外がバラける可能性も高くなる。だからこそインを突いても前が詰まらないという確信を持っていたのではないだろうか……。
「シルポートが下がりがながら外へ行ったから最後まで内を突く形になったけど、真っ直ぐ下がってきたら1頭分、外へ出せばよかっただけ」
シルポートの更に外にはカレンブラックヒルとダイワフアルコンがいた。果たしてシルポートの外、つまりシルポートとカレンブラックヒルの間を割ることは本当に出来たのか？
「ダイジョーブ」
デムローは余裕とばかりに笑いながら日本語で答えた。
「運」を作戦で引き寄せて、デムローは天皇皇后両陛下に敬礼する資格を得た。

「（松永）幹夫さんみたいにやりたかったけど、何かもっとスペシャルな形で敬意を表したかった。そのためには馬から下りてやるのがベターだと思った」
最敬礼した瞬間、デムローは「ベリーベリーハッピーナキモチ」になった。日本でのGI勝ちも久しぶりなら、今年は主戦場としたイギリスで苦戦を続けてきたという背景もあった。それだけに、天皇皇后両陛下に最敬礼できたことが嬉しかった。
その後は両手でハートマークを作り、観客席にそれを掲げた。思えば、昨年の3月、大震災に打ちひしがれる日本列島に、ドバイから朗報を届けたのもデムローだった。当時は、第二の故郷である日本のために涙を流してくれた。彼はイタリア人だが、日本人以上に日本人の心を持つジョッキーだ。そういう意味では、天覧競馬を勝つに相応しい存在だったのではないだろうか……。
**天覧競馬を勝つに相応しい
騎手の態度や言葉とは？**
今回のレース前「天覧競馬を外国人騎手に勝たすわけにはいかない」と言っていた日本人騎手を私は知っている。しかし、彼はこの結果を受け、どう感じただろうか……。デムローの最敬礼をみて、「ミルコに勝たれたなら仕方ない」と思ったのではないだろうか……。ミルコ・デムローの、畏敬の念を表す態度や言葉を見たり聞いたりしていると、そう思わずにはいられない。
（文中敬称略）

Mirco Demuro

「ヒーローインタビュー」

日本を愛するイタリア人の畏敬の念

天皇賞・秋でエイシンフラッシュを久々の勝利に導き、天皇皇后両陛下の前で最敬礼したのはイタリア人騎手のM・デムロー。彼がどんな想いを胸にこの一戦に臨み、そしてあの振る舞いに至ったのか、その心情に迫ってみた。

平松さとし=文
text by Satoshi Hiramatsu